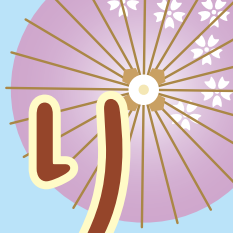




たかぎ

議会だより



No.98 令和4年7月

P2 議長あいさつ
議案審議内容

P3 村民意識調査の議会への
アンケート結果を受けて

P4・5 予算決算常任委員会

P6・7 喬木村の新型コロナウイルス
対応臨時交付金事業

P8 総務産業建設常任委員会
社会文教常任委員会

P9 一般質問・委員会の活動目標

P10 議会現地視察

P11 議会モニターご紹介
議会だよりへの意見・要望にお答えします

P12 この村で頑張っています

リニア高架橋工事がいよいよ住宅地で始まる
～ 数年にわたり交通規制が行われる、竜東一貫道路（北地区）～



ごあいさつ

議長 後藤章人



田圃の苗の緑も徐々に濃く感じられるようになった6月、令和4年第2回喬木村議会定例会が3日から17日まで、15日間の会期で開催されました。

報告案件17件、議案8件、発議2件が上程され、すべて承認、可決されました。

さて、今議会も改選後1年が経過し、1月には、新議員1人加わったものの、まだ定数に1人足りない状態のまま運営されてきました。1人欠は、常任委員会の運営が厳しいということとはさておき、住民の皆様の声がしっかり聞き取れるのか、そして、きちんと村へ伝えられるのかと考えると、この議会は、非常に未熟な議会であるととらえざるを得ません。

議会としては、1年かけ、このような状況の原因を話し合った結果、「住民の皆さんに、思いや、行動を見ていただく機会を持たなかった。その結果住民の気持ちは議会から離れていった」「住民の皆さんに私たちの方を見てもらう方策も、努力も足りなかった」などの意見が出されました。これらの意見を基に、議会モニター制度の強化、地区懇談会の内容の見直し、そして、喬木村議会の運営の基本である、夜間・休日議会の再検討を進めることとしました。議会モニター、地区懇談会についてはすでに検討を始めており、夜間・休日議会については、7月を目途に方向を決めたいと思っています。

いかに、住民の皆様のご関心を議会に向けていただくかを念頭に、今後も議会運営を進めて参る所存です。

議案審議内容

報告第2号から第12号を承認。議案30号から32号まで、議会より出された2件の発議は開会日初日に、議案第33号から議案第37号は最終日に全会一致にて可決した。

報告第2号

損害賠償に関わる事項

(村道の瑕疵を起因とした賠償)

議案第30号

国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部改正

(コロナの影響から傷病手当金の適用期間延長のため)

報告第3号

斑状歯の治療に対する給付費

議案第31号

特定環境保全公共下水道区域外流入分担金徴収条例の制定

(下水道の区域外流入に対応する分担金を徴収するための条例が制定されていなかったため)

報告第4号

喬木村税条例の一部改正

報告第5号

国民健康保険税条例の一部改正

(ともに国の法令改正に伴う改正)

議案第32号

村営住宅建設工事請負契約の締結

(北集合住宅建設：2億9,393.1万円(税込))

報告第6号～12号

令和3年度一般会計補正予算及び他3つの特別会計補正予算、2つの事業会計補正予算

(ともに年度末精算に伴う補正)

発議2号

喬木村議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

発議3号

喬木村議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

今回の発議は、重大な感染症のまん延または大規模な災害等により委員の参集が困難な場合にオンラインでの委員会開催を可能とすることを目的としたもの。

議案第37号

固定資産税評価委員会の委員の選任につき同意を求めることについて

委員として、阿島 中島強 氏を選任

村民意識調査の議会に対するアンケート結果を受けて

副議長 中森 高茂

6月議会定例会において、村民意識調査の速報値が村から示された。

議会と住民の皆様との懇談会は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、広聴委員会中心に計画するも、2年間実施できなかった。この様な中、住民の皆様の議会に対する思いを知るため、村が毎年実施している村民意識調査に、議会からの質問を加えていただいた。

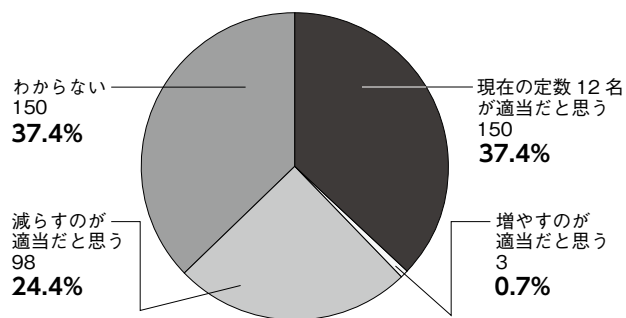
その結果を受け「議員全員協議会」にて、協議を行い今後の取り組みについて話し合いをした。

Q.現在の村議会議員の名前を、何人知っていますか

項目	n(人)	割合
11人	17	4.3%
10人	11	2.8%
9人	6	1.5%
8人	18	4.5%
7人	18	4.5%
6人	22	5.5%
5人	40	10.0%
4人	35	8.8%
3人	39	9.8%
2人	47	11.8%
1人	29	7.3%
知らない	117	29.3%
全体	399	100.0%

Q.現在議員定数に対して、1名欠員となっていますが、定数は何人が適当だと思いますか

項目	n(人)	割合
現在の定数12名が適当だと思う	150	37.4%
増やすのが適当だと思う	3	0.7%
減らすのが適当だと思う	98	24.4%
わからない	150	37.4%
全体	401	100.0%



※調査結果の割合(%)は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。

『議員の名前を何人知っていますか』との問いに対しては、「知らない」と答えた方が回答者の約30%を占めていた。改めて、議会への関心の薄さを痛感した。また、議会の情報を知る手段として70%の方が議会だよりを活用している。との回答を受け、今後も紙面を活用し、議会活動をアピールしていくことが大切だと意見が出された。

『議員の仕事として、議決すること以外に重要と考えることは。』との質問には、「村民の意見要望を聞き、村政に反映すること」や、「政策の提案提言を積極的に行うこと」、さらには「将来ビジョンを討論すること」が多くを占めていた。議員一人一人が再確認し議員活動していくことと、議員全員協議会において政策提言や将来ビジョンにつながるような課題をテーマとし、時間をかけてしっかりと討論していくことを確認した。

結果を受けて～

- ・ 民意を幅広く聞けるように⇒議会モニター制度の強化
- ・ 大勢の方に参加いただけるように⇒議会懇談会の内容と開催方法の変更
- ・ 議会活動の充実のために⇒議員全員協議会の連絡協議会化を、政策中心の討議を重視

～これらに取り組むこととした。

予算決算常任委員会

委員長 下 平 貢

6月9日19時より委員会を開催し、令和4年度各会計補正予算の審議を行なった。主な補正内容は、新型コロナウイルスや、資材高騰の影響を受けた住民生活への支援や事業者支援のための事業支出によるもの。主な審議の内容は下記の通り。



農業振興事業補助金 1,110万円

農業用設備固定費支援補助金	50万円
農業者経営支援補助金	510万円
畜産飼料高騰対策支援補助金	550万円

いずれもコロナの影響や、資材高騰の影響を受けた農業者への支援

商工業振興経費 2,350万円

企業経営支援補助金	500万円
事業継続支援給付金	600万円
商工業物価高騰対策支援補助金	900万円
商工業等経営支援補助金	350万円

いずれもコロナの影響や、資材高騰の影響を受けた商工業者への支援

喬木村地域活性化商品券発行事業 6,465万円

燃料費高騰、物価高騰などにより住民生活への影響が大きいため住民への直接支援を行なうために計上

喬木村飲食店消費活性化商品券発行事業 1,273.1万円

依然としてコロナの影響で厳しい経営を強いられている飲食店の消費の活性化を促すために行なう費用を計上

村単農業施設改良事業 100万円

土井場沢下水道現地調査委託料を計上

Q 土井場沢下水道現地調査委託はJRの事業ではないのか。

A 高架橋に関わる部分についてはJRが請け負うこととなるが、北地区全体の排水対策の一環として行なう事業として村として行なう部分を計画した。

土木管理経費（道路パトロール） 70万円

Q 村道の瑕疵による損害賠償が続いたが、道路パトロールの今後の考え方は。

A 現在、週3回（火曜日、水曜日、木曜日）村内を回って頂いている。その報告を基に速やかな修繕に努めている。また、この道路パトロールについては、郵便局等日々村内をくまなく走る業者と提携し道路情報を提供頂くようにもしている。更に地域見守り隊にも情報を頂くような仕組みを構築し充分保管できる体制にしている。

公営住宅事業（村営住宅設計監理委託料）

581.9万円

Q 村営住宅設計監理委託料について、従来の設計費は建築費の15%前後と見ていたが、今回は想定より安く設定された。その根拠は。

A 今回は設計施工一括型でプロポーザル形式で行なった。業者のこれまでの実績によりある程度の基礎的設計が存在していたことにより2%の設計委託料に抑えられたものと察する。

議案第33号 令和4年度一般会計補正予算（第1号）

補正額 1億9,797.5万円 総額 47億9,797.5万円

主たる歳入は地方創生臨時交付金 1億3,710.3万円、

財政調整基金 3,300万円 福祉基金 2,000万円

消防団運営経費 803.8万円

団員用安全靴 103.8万円

消防団活動感染対策支援補助金 700万円

1班あたり限度額50万円とし、マスク等の消耗品や、感染対策のための改修費用、エアコンや空気清浄機の設置、パーティションの購入などに充てる。

調理場管理運営経費 300万円

賄材料費 300万円

学校給食の材料費高騰対策として計上

Q 学校給食に対し、物価高騰に合わせた補正を組まれたが、保育園の給食についてはいかがか。

A 保育園については、今のところ物価高騰の影響が出ているということは聞いていない。今後の状況に注視していく。

今後も支援は続けられるのか

A 今回はコロナに加えて資材高騰等が国民の生活や企業経営に大きな影響を及ぼしたことから国も支援に動いた。しかしながら、今後も継続的にこうした支援策ができるかという点、少子高齢化により生産年齢人口が減少し社会福祉費が増えていく社会基盤の変化を想定すると、そうした状況にないと判断している。

今回のコロナ関連の32の事業の周知方法は

A 広報誌、ホームページ等を活用すると共に、6月13日より行なわれている村政懇談会においても住民の皆様と直接関係する事業の一覧表を作成し配布していく。また、事業の対象となる方へは直接通知していく予定である。

北地区分譲地の現在の応募状況は

A 9区画の分譲に対し、2区画が決まった（令和4年6月末時点）。

北保育園の跡地利用の構想は

A 現時点では、町地区の避難所としての考え方は重要であると認識している。村のプロジェクトチームでも検討を重ねているところである。

議案第34号

令和4年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

補正14万円を計上

コロナに係る事業主への傷病手当引当金

議案第35号

令和4年度水道事業会計補正予算（第1号）

支出補正額1,760万円を計上

三枚添配水管布設工事費

議案第36号

令和4年度下水道事業会計補正予算（第1号）

支出補正額7,140万円を計上

特環下水道管渠敷設工事（伊久間）の増加分

喬木村の新型コロナ感染症対応臨時交

◇事業名：地域活性化商品券発行

◇対象者：全村民

◇補助内容：村民1人当たり
1,000円券を10枚
計10,000円分の商品券

◇事業名：飲食店消費活性化商品券発行

◇対象者：全世帯

◇補助内容：村内飲食店で使用できる
1世帯当たり500円券を10枚
計5,000円分のクーポン券
(7月～11月 各月2枚まで使用可)

◇事業名：農業用設備固定費支援

◇対象者：農業用設備を有し、償却資産税が賦課され、完納している農業経営体

◇補助内容：農業用設備に係る固定資産税償却資産分の8割の補助

◇事業名：農業者経営支援

原油価格及び物価高騰の影響を受けている村内農業者の支援

◇対象者：農業所得の申告をされている方

◇補助内容：認定農業者 50,000円
上記以外の農業者 10,000円

◇事業名：畜産飼料高騰対策支援

◇対象者：村内畜産農家

◇補助内容：飼料高騰分の1/2以内を補助
(上限50万円)

◇事業名：企業経営向上支援補助金

中小企業等が、コロナ禍を契機とした社会の変化に対応するために、生産方式や生産性向上、販売方法の変更等に意欲的な事業者を支援する

◇補助対象：施設・設備等の整備に係る経費、設備・備品等購入費、需要把握に必要な経費、広告宣伝費、販売促進費等

◇補助金額：対象経費の2/3以内
(上限100万円)

◇事業名：事業継続支援給付金

物価高騰及びコロナ感染拡大の影響を受けており、事業継続の意思のある企業への支援

◇対象者：令和4年中の連続する3か月間の売上が平成31年1月から令和3年12月の同月間に比べ20%以上減少している村内法人または個人事業主

◇補助内容：・従業員10名以下の企業は10万円
・11人以上50人以下は30万円
・51人以上は50万円

◇事業名：商工業等物価高騰対策支援

事業に必要な燃料費等及び資材に対して、企業規模に応じて支援する。

◇対象者：村内に事業所を有する法人または個人事業主で、令和4年中のいずれかの月が令和3年中の同月に比べ10%以上20%未満減少している事業所

◇補助内容：従業員1名につき10,000円
(上限50万円)

◇事業名：商工業等経営支援

売上に占める利益が資材費等の高騰により減少した事業所

◇対象者：村内に事業所を有し従業員数30名以上で令和4年中のいずれかの月が令和3年中の同月と比較し、資材等の高騰により事業収益が減少している事業所

◇補助内容：50万円

付金事業 歳出予算 1億6,643.5万円

生活応援 32 事業 ～原油価格・物価高騰対策～

- ◇事業名：第4回学生応援宅配便
- ◇対象者：飯田下伊那以外に居住する村出身の県内外の学生
- ◇支援内容：特産品及びQUOカードのセットを贈る
- ◇支援総額：10,000円×150セット

- ◇事業名：帰省学生の新型コロナウイルス感染症検査費用補助
- ◇目的：PCR検査や抗原定量検査費用を補助することで、当地域外に居住する学生・生徒が安心して帰省できるようにし、あわせて感染拡大を防ぐ
- ◇補助内容：飯田下伊那地域以外から帰省する学生・生徒のPCR検査、抗原定量検査費用を補助する（上限5,000円）
・帰省前後3日以内に受けた検査に限る

	事業費
◇コロナ禍における議会情報提供発信事業	131.8万円
◇公共交通事業者支援事業（村内タクシー事業者）	30.0万円
◇新型コロナ対策広報事業	18.2万円
◇福祉施設支援事業	450.0万円
◇福祉サービス利用者等抗原検査費用補助事業	48.0万円
◇コロナフレイル予防活動支援事業	18.6万円
◇保育環境改善事業	140.0万円
◇新型コロナウイルス感染症対策傷病手当金事業	21.0万円
◇PCR検査自己負担分補助事業	21.4万円
◇環境モニタリング機器導入支援事業	64.0万円
◇道路台帳図電子化事業	2,200.0万円
◇消防団活動感染対策支援事業	700.0万円
◇修学旅行等支援事業	30.0万円
◇学校保健特別対策事業費補助金 （感染症対策等の学校教育活動継続支援事業）	270.0万円
◇学校施設感染症対策事業（第二小学校）	330.0万円
◇学習者用デジタル教科書整備事業	104.2万円
◇共同調理場環境改善事業	83.0万円
◇公共施設トイレの感染防止対策（第一公民館）	405.2万円
◇地域子ども・子育て環境改善事業	30.0万円
◇成人式対象者抗原検査費用助成事業	75.0万円



学校給食物価高騰対策補正予算 300万円

総務産業建設常任委員会

委員長 佐藤 文彦

・北部ブロック提出議案の抽出

- 1) 上下水道事業への新たな取り組みについて
 - ・ 下水道事業における広域化の検討
 - ・ 水道事業における小規模自治体での官民連携の仕組み作りの推進
- 2) 脱炭素社会に向け、環境関連活動における森林整備事業の推進について
 - ・ 山林事業における施業単価及び労務単価の改善
 - ・ 森林製品の利用促進
 - ・ 里山整備事業の継続と拡充



飯田市議会 リニア推進特別委員会との懇談の様子

今定例会において、当委員会への付託議案はなく、諸課題についての学習会を行った。

・飯田市議会リニア推進特別委員会との懇談

飯田市よりリニア長野県駅の構想となる「デザインノート」が示された。喬木村ではリニア中央新幹線と三遠南信道の2つの大きなインフラ整備が行われており、委員会としてもこれら2つを活かした地域づくりと、2つを繋げるインフラ整備が課題と捉えている。そこで、飯田市議会リニア推進特別委員会と、それぞれの考えや課題について共有するための懇談をおこなった。

飯田市からは、リニア駅の計画と駅周辺の開発に対する課題が出され、喬木村からはリニア駅に近い村として求められる役割についてと、リニア・三遠南信道を繋げるインフラ整備（阿島橋架け替え・富田バイパス拡幅改良）について協力をお願いした。

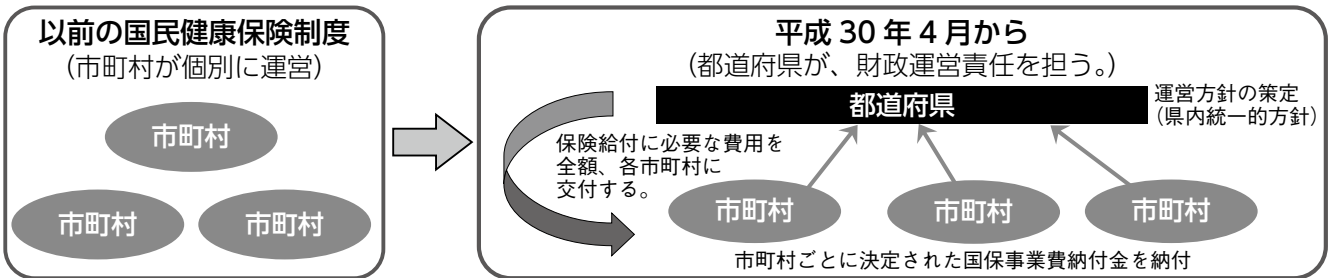
今後も、将来に責任を果たせるそれぞれの事業となるよう、懇談を重ね協力体制を強化していく。

社会文教常任委員会

委員長 小川原 美智穂

社会文教常任委員会は、国民健康保険制度についての勉強会を行いました。

国民健康保険の財政運営が、市町村から都道府県へ移行しているのをご存じですか。



国民健康保険は、病気やけがをしたときに、安心して病院にかかることができるよう、加入者の皆さんでお金を出し合ってお互いに支え合っていく制度です

国民健康保険の制度は、加入者の「年齢構成が高く、医療費水準が高い」「低所得者が多い」という状況であり、小規模な保険者では、突発的な高額療養費等が発生すると、途端に国保運営が不安定となるなどの課題がありました。そのため、平成27年5月27日に「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」が成立し、市町村で行っていた財政運営を都道府県が責任主体となることで、安定的な国保の運営を図ることになりました。

現在、令和9年度までに二次医療圏域（飯田下伊那）での保険料統一（応益割額の平準化等）が行えるよう進められています。

重要 村民の方からこんなご質問をいただきました。

Q 他の町村から越して来たら、喬木村は国保料が高いのですが、なぜですか？

A 税率は各自治体ごとに決定しております。税率を引き下げるために、法定外の繰入（一般会計からの繰入）を行っている自治体もありますが、当村では行っていません。最近まで、希に行っている自治体もありましたが、その自治体には本年度県からの指導もあり、繰入を行わず、税率が引き上げられました。今後は、二次医療圏域での保険料統一に向けて、各自治体で税率の見直しが進められていくと思われます。

本年度喬木村の国保税税率は据え置きです。



ヤングケアラー支援 について

後藤 澄 壽 議員



Q 大人にかわって家事・家族の世話などを
子ども、ヤングケアラーをどのように支援し
ていくのか。

A ヤングケアラー支援については、本年度の教
育方針の中に位置づけ、県の調査に協力して、
この調査結果を分析し、実態を把握し、今後、国、
県の事業も有効に活用しながら、関係機関と連携
し、ヤングケアラーをふくむ子どもたちを支援す
る枠組みを整えていきたい。

■物価高騰で困難に直面している農家、商工業者支援
について



ヤングケアラー 実態調査について

松村 光 洋 議員



Q 勉強や余暇の時間を奪われ、進学や就職に不
利を被るヤングケアラー問題と子どもの権利
について村としてどのように考えるか。

A 日本国憲法では基本的人権が尊重がうたわれ、
1989年国際連合総会において「子どもの権利
条約」が採択され、日本は1994年に批准した。次
代を担う子どもたちは宝物である。その子どもた
ちの権利保障は重要な問題として考えており、学
校、保護者、地域、行政の連携のもと施策を推進
していく。



リニア新時代にむけた グランド デザインは

下平 貢 議員



Q 村の位置づけと役割を果たすデザインをどう
描くか。喬木村版デザインノートを作成し住
民に問うてみては。

A リニア効果を最大限に享受するため、北部総
合事務組合では「リニアを見据えた北部まち
づくり構想」を現在策定中。この構想の中で喬木
村の期待される役割が明確になってくる。一方村
では4つの重点プロジェクトを立ち上げ検討し
ている。喬木版のデザインノートを作成したいと思
いは同じである。

■リニア新駅に、喬木村がどの程度の枠組みを
求めていくのか



風水害から命を守るための ソフト面における事前対策

福澤 一 成 議員



Q 自治会、公民館等の負担軽減を図る中で、防
災対策の継続、蓄積ができる自主防災組織が
必要と思われるが。

A 自主防災組織について「過去の災害状況の蓄積、
対策の継続する組織」は、村も期待しております。
防災への取り組みは益々重要であり、村では、自治会
の負担軽減を検討することや、防災リーダー制度や地
区防災支え合いマップの作成支援を進める中で、防災
力向上にご理解とご協力をお願いしたい。

■気象情報発表の変更 ■要配慮者避難支援 ■避難
所の介護サービス

委員会年間活動目標

総務産業建設常任委員会

・委員会年間目標
⇒ 道路インフラの課題解決

- 1) 弁天橋の渋滞緩和
- 2) 城坂の電柱移設

今回は上記2件について、提言書をまとめ
関係機関へ提出。

今後も随時調査を行ない課題解決に努める。

社会文教常任委員会

全ての村民が
健康で、安心して暮らせる
ための地域づくり

議会現地視察

総合保育園

11月竣工を目指して…

令和4年11月末の竣工を目指し、工事が進められている統合保育園。6月17日、進捗状況について、視察を行った。説明質疑では、工事は工程通り進んでおり、資材高騰による材料資材の納入も、今のところ影響は出ていないことを確認した。今後も安全作業で順調に進むことを願う。



三遠南信道各箇所工事が進む

(令和4年度 36億9,100万円)

本年度、三遠南信道飯高道路3工区(喬木村内)には、36億9100万円もの予算がつき、工事が進められている。3工区は急峻な地形の為、11本のトンネルと9本の橋(高さ70mを含め)によりつながる。

6月22日、村内工事箇所を視察し、各所にて飯田国道事務所より説明を受け、工事の難しさや進捗状況について確認した。

11号トンネル



二目洞



議会モニターご紹介

公募枠を募集しておりましたが、多くの方の応募があり以下の方々が決まりました。

池田英明(上平)	森山康晴(郭)
湯澤直幸(伊久間)	宮崎剛史(町)
鈴木智也(馬場)	片桐達志(北)
樽沼由香(南)	古島智恵美(伊久間)
小池章夫(富田)	小池伊佐子(富田)

なお公募枠の募集は終了しました。

地区推薦の皆さんとともに令和6年3月までお世話になります。よろしくお願いいたします。

※7月27日午後7時より、第2回議会モニターと議会との懇談会を予定しています。

議会だよりへの意見・要望にお答えします

- ① 傍聴や議会便りの感想などアンケートがある。回答の回収について、返信用封筒の84円切手は節約できるのではないかな。

回答 個々の事情があると思われます。郵送・役場文書受付箱への投函など、議会モニター個々の返信方法の希望を確認させていただき対応しています。郵送料など節約へのご提案ありがとうございます。

- ② 村で決定したことなど早めに載せてもらいたい。

回答 議会便りは定例会後の年4回の発行です。毎月発行される「情報誌たかぎ」「村のホームページ」「いちごチャンネル」などご活用ください。

- ③ 居眠りしている議員がいる。寝ないようにしてほしいとの意見を出している。要望と受け取られているのか。

回答 議会全員協議会では、出された意見要望に対して確認しています。居眠りがあるとすれば議員個人の問題であり、個々の責任で秩序の厳守をすることを再確認いたしました。

- ④ QRコードを読み取り、議員からのメッセージや自己紹介、イベント動画など発信してほしい。

回答 村のデジタル化に合わせて、今後検討していきたいと思っております。

- ⑤ 議会便りも100号に近い。記念号のようなものになるとよいと思う。

回答 編集委員会でも検討しましたが、特別号としては考えておりません。号ごとに読みやすい議会便りにできるよう精進してまいります。



「ありがとう」を胸に、これからも!

大平建設株式会社 大平 智之

日頃よりお世話になっております。阿島地区で総合建設業をしております。大平建設(株)の大平と申します。

飯田市の建設会社から喬木村の父の会社に入社しまして9年になりました。この9年間では主に喬木村、長野県、国関連の公共事業に携わり、喬木村は三遠南信自動車道やリニア中央新幹線、災害対策、教育施設などが目まぐるしく発展していると感じております。

その中で令和2年7月豪雨での加々須地区大規模土砂崩落は衝撃を受けた工事でした。何が衝撃かと言いますと、崩落が起こる数分前までその場所で落石を撤去する作業をしていたのです。詳しく書くと議会だより丸々1冊分は費やしそうですね。気になる方は私を見かけたら話し掛けてください。

この崩落災害は大島区のライフラインである県道大島阿島線が通行止めとなり住民の皆さんが一時孤立状態となりました。私は災害発生時から大島阿島線の早期復旧に向けた復旧工事の担当になっており、携帯は圏外で昼夜作業であったため喬木村の災害現場が報道に出ていることも後に知りました。

その後、再度災害が起きるなど色々あったのですが、通行を確保できた際に孤立されていた皆様方から「ありがとう」と言って頂いた時は本当に嬉しかったです。日頃、工事をしていまして中々住民の方達と顔を合わせて話をする機会も少なく、税金と迷惑をかける公共工事がマイナス評価しかされていないのではないかと不安に思うこともありましたが、この時の「ありがとう」は、改めてこの仕事で人の役に立てたような気分にもなりましたし、生涯忘れることはないと思います。

これからも喬木村の皆様のため、未来の喬木村を子供たちが笑顔で生きていけるためにも、この村でがんばっていこうと思います。まだまだ若輩者ではありますが、どうぞよろしくお願ひ致します。

P.S. 弊社は常に新しい仲間を募集中です。お気軽にお声がけください。



議 会 日 誌

5月

17日 全員協議会

6月

3日 令和4年第2回定例会開会
全員協議会

9日 予算決算常任委員会(夜間開催)

14日 本会議(一般質問)

総務産業建設常任委員会

社会文教常任委員会

17日 本会議(閉会)

視察(統合保育園建設現場)

22日 視察(三遠南信道現場 氏乗地区)

7月

8日 議員全員協議会

今後の予定

7月

14日(木) 全員協議会
長野県町村議会議員研修会
27日(水) 議会モニターとの懇談会

8月

12日(金) 全員協議会
18日(木) 議員と語ろう会(福祉)

9月

5日(月) 午前9時 令和4年第3回定例会開会(案)
全員協議会
11日(日) 午前9時 本会議(一般質問)(案)
13日(火) 終日 常任委員会(夜間予備日)(案)
15日(木) 終日 予算決算常任委員会(案)
21日(水) 午後1時30分 本会議(閉会)(案)
議員全員協議会
29日(木) 議員と語ろう会(地域コミュニティ)

10月

未定 全員協議会

表紙写真の説明

加々須川堰下橋付近から北側をのぞむ。工事により住民への負担や影響が長期におよぶ。議会としても今後の動向に注視していく。

あとがき

新型コロナウイルス感染症はほとんどの地域で報告数の減少傾向が続いていたが、ここへきて第7波も懸念され引き続き注視が必要である。コロナウイルスが流行してから、我々の生活スタイルも変わった。1年目はウイルスに怯え、経済を止め、マスクをし、人との距離を保ち過ごした。2年目以降は、ワクチンが開発され、薬も処方され、今では屋外ではマスクをせざるも許され、人との距離も戻ってきた。苦しい状況も一生は続かない。苦しい時は共に助け合い、解決策を考え、行動し生き延びてきたのが人間だ。引き続き感染対策をしっかり行い、マスクを外して生活が出来る日まで、1日1日を大切に過ごしたい。

(佐藤 文彦)

編集委員会

- 委員長 福澤眞理子
- 副委員長 福澤一成
- 委員 下平 貢
- 委員 佐藤 文彦
- 委員 小川原美智穂